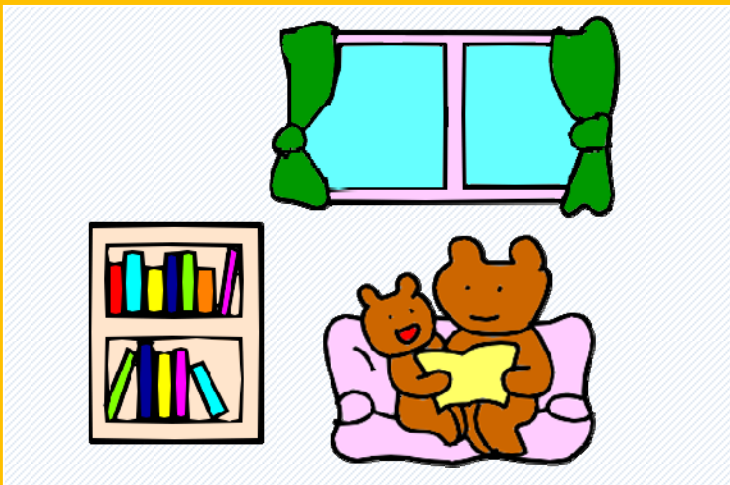


あうちでいっしょに 楽しむ絵本

3歳からのブックリスト



横浜市立図書館

読み聞かせ Q & A

子どもは、絵本の読み聞かせが大好きです。なぜなら、大好きな大人といっしょに、楽しいことや知らないことがいっぱい詰まっている世界を味わうことができるからです。読み聞かせは、親子のコミュニケーションの時間です。子どもに質問をしたり、感想を求めたりせず、子どもといっしょに絵本をまるごと楽しみましょう。

Q

本を読む時は、どんな姿勢がよいのでしょうか



A

いつでも、どこでも楽しめるのが、本のよいところ。子どもを膝の上ののせてあげても、隣に寄り添っても、子どもがリラックスして聞けるのであれば、どんな姿勢でも構いません。



Q

読み聞かせをしても、聞いてくれません



A

読み聞かせをしても、おとなしく聞いてくれないことがあります。でも、大丈夫。聞いていないように見えても、子どもは本を楽しんでいます。あまり気にせず、読み聞かせを続けてみてください。

ただし、子どもがほかのことに気をとられているようであれば、読み聞かせは次の機会にした方がよいでしょう。

Q

いつも決まった本しか読みたがりません



A

子どもは好きな本をくり返し読んでもらいたがります。子どもは本の中の変わらない世界に安心していますので、「もういい」と言うまでは、読み聞かせを続けてあげてください。

Q 本を読んでいると次々ページをめくってしまいます



A

本を読んでいる途中でも、次々ページをめくってしまったり、本をボタンとどじしてしまったりすることがあります。それでも心配することはありません。少しずつ読み聞かせに慣れていけば、本をじっくりと楽しめるようになります。

あまり聞いていないようでしたら、子どもにおはなしが難しすぎるのかもしれませんが。途中でやめて、ほかの本を読みましょう。

Q

何歳まで本を読んであげればよいのでしょうか



A

本の読み聞かせは、子どもが文字を読む訓練ではありません。たとえ文字が読めるようになったとしても、文章を読んで内容を理解するようになるまでには、時間がかかります。子どもが「自分で読む」というまでは、絵本や物語を読んで聞かせてあげてください。



Q

どんな本から読み聞かせを始めたらよいのでしょうか

A

まずは、このリストにある本から、子どもといっしょに楽しんでください。

また、図書館では、いろいろな絵本の読み聞かせをする、おはなし会を行っています。子どもたちが、知らない本に出会うきっかけになるかもしれません。ぜひご参加ください。

図書館には、「児童書研究コーナー」もあり、読み聞かせに参考になる本もあります。図書館の窓口でもご相談ください。

読み聞かせについてもっと知りたいときは・・・

☞ 『ぼくの絵本わたしの絵本 0歳から6歳までの絵本ガイド』

石川道子・平田美恵子・湯沢朱実／編著 プランニング遊

→年齢別に本を紹介しています。子どもがどのように本を楽しむのかわかります。

☞ 『絵本はともだち』 中村衞子／著 福音館書店

→保育園で絵本の読み聞かせをしてきた著者による実例集。ブック・リスト付き。

☞ 『子どもの育ちを支える絵本』 脇明子／編著 岩波書店

→なぜ子どもに絵本を読むのか、またどのように読むのかが書かれています。

ほかにもいろいろあります。くわしくは図書館でおたずねください。

3～4歳



3～4歳の子どもは、好奇心が旺盛。見るもの、聞くものが新鮮で、何でも試してみたくなる頃です。ごっこ遊びが好きになる

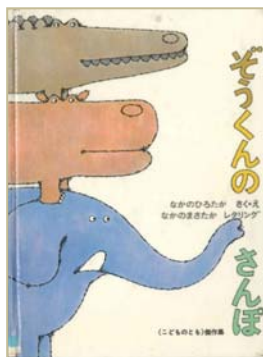
この時期は、主人公になりきって絵本をまるごと楽しめます。ストーリー運びが簡単で、結末が安心できる絵本を読みましょう。

ちびすけどっこい

シリーズ

こばやしえみこ／案 しまませつこ／絵
こぐま社

「ちびすけどっこい はだかでこい ふんどしかついで はだかでこい」。わらべうたのリズミカルな言葉を、子どもとスキンシップをとりながら楽しみましょう。



ぞうくんのさんぽ

シリーズ

なかのひろたか／さく・え なかのまさたか／レタリング
福音館書店

さんぽにでかけたぞうくんは、おともだちのかばくんや わにくんたちを どんどんせなかにのせていきます。ぞうくんは とても ちからもち。ところが、ぞうくんは、あまりのおもさに たえられず…。

ねずみのいえさがし

シリーズ

ヘレン・ピアス／さく まつおかきょうこ／やく
童話屋

ねずみが いえをさがしています。うえきばちは、さむすぎるし、ストーブのまえでは あつすぎます。ぴったりの いえは見つかるかな？ 写真を使った絵本です。





だいくとおにろく

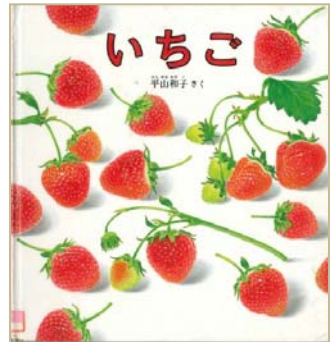
松居直／再話 赤羽末吉／画
福音館書店

「おまえの目玉よこしたら、おれが おまえにかわって、その橋かけてやってもええぞ。」とおにに言われただいく。目玉を取られないために、だいくは、おにの名前を当てなければなりません。

いちご

平山和子／さく 福音館書店

「あたたかくなったよ。いちごはまだ？」寒い冬をこえて、いちごが少しずつ育っていく様子が、色鮮やかに描かれています。おいしそうないちごの絵に、思わず手をのばしたくなります。



てぶくろ

エウゲーニー・M. ラチョフ／え うちだりさこ／やく
福音館書店

おじさんがおとしていった てぶくろ。くいしんぼねずみに ぴよんぴよんがえる、はやあしうさぎなど、たくさんの動物が「いれて」とやってきます。てぶくろは、いまにも はちきれそう。ウクライナの民話です。



ティッチ

シリーズ

パット・ハッチンス／著 石井桃子／訳
福音館書店

三人きょうだいのすえっ子のティッチが、もっているものは 小さいものばかり。でも、そんなティッチがうえた小さいたねは、ぐんぐん育って きょうだいのだれよりも 大きくなりました。



おやすみなさいおつきさま

マーガレット・ワイズ・ブラウン／さく
クレメント・ハード／え せたていじ／やく 評論社

こうさがぱっちりと目をあけたまま、ベッドに入っています。へやの中のもの、一つ一つにおやすみなさいとよびかけていくうちに、いつのまにかねむりにつきました。おやすみの前にどうぞ。



はらぺこあおむし

エリック・カール／さく もりひさし／訳
偕成社

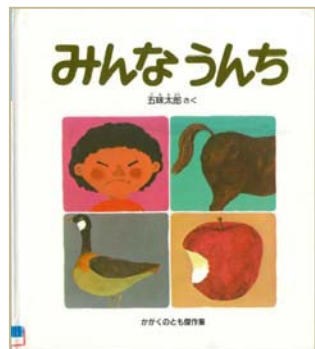
うまれたばかりのあおむしは、おなかがぺっこぺこ。あおむしがたべたのは、りんごになしに、すももに いちご、ほかにもたくさん！ 穴が開いているしかけも、子どもに人気です。



みんなうんち

五味太郎／さく 福音館書店

おおきいぞうは おおきいうんち。ちいさいねずみは ちいさいうんち。とまって うんち。あるきながら うんち。いろんな どうぶつ いろんな うんち。みんな うんちをするんだね。



わたしのワンピース

にしまきかやこ／え・ぶん こぐま社

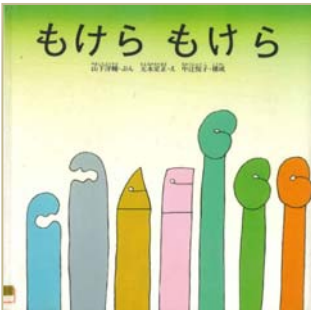
空からおちてきた まっしろな きれで、ワンピースをつくりました。ラララン ロロロン にあうかしら？ ふしぎなワンピースは 花もようや水玉もようと 次々にもようが変わっていきます。

せきたんやのくまさん

シリーズ

フィービとセルピ・ウォージントン／さく・え
いしいもこ／やく 福音館書店

せきたんやのくまさんは、にばしやにのって、せきたんをはいたつします。どかん！ どかんと せきたんをおいて、「200 円いただきます。」といいました。はたらきもののくまさんの一日です。



もけらもけら

山下洋輔／ぶん 元永定正／え
福音館書店

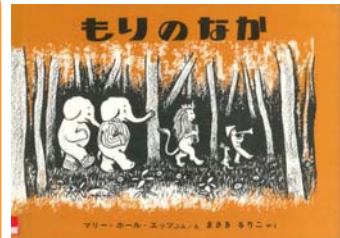
とつてもへんてこな絵と、「もけら もけら ぱたら ぺたら びた」といった独特なリズムのある言葉が、不思議によく合っています。気楽に言葉の響きを楽しんでください。

もりのなか

シリーズ

マリ－・ホール・エッツ／ぶん・え まさきりこ／やく
福音館書店

ぼくは、かみのぼうしをかぶり、あたらしいらっぱをもって、さんぽにでかけました。すると、もりのなかのどうぶつたちが、ぼくのさんぽについてきました。モノクロの静かな絵本です。



三びきのやぎのがらがらどん

マーシャ・ブラウン／え せたていじ／やく
福音館書店

むかし、あるところに 三びきのやぎがいました。なまえはどれも、がらがらどんといいました。「お前を食べてやる」という、おそろしい Troll を前に、やぎたちはどう切り抜けるのでしょうか。

4～5歳



4～5歳の子どもは、社会生活や友達関係が築かれ、生活範囲からちょっと離れたことにでも、興味関心が広がります。

また、自分の好みをはっきりして、好きな絵本を楽しむようになります。お気に入りの絵本が見つかったら、くり返し読みましょう。ちょっと長めの絵本も楽しめるようになります。

どろんこハリー

シリーズ

ジーン・ジオン／ぶん マーガレット・ブロイ・グレアム／え
渡辺茂男／訳 福音館書店

くろいぶちのある しろい犬のハリーは、おふろがだいきらい。そんなハリーが、どろんこになり、しろいぶちのある くろい犬になりました。かぞくはだれもハリーだとは きづきません。さあ、たいへん。



11ぴきのねこふうろのなか

シリーズ

馬場のぼる／著 こぐま社

11ぴきのねこは、えんそくにでかけました。道のたてふだの「してはいけないこと」をしていき、「ふうろにはいるな」とかいてある おおきなふうろにも入りました。するとふうろの口がとじられて…。大人気シリーズの1冊。

くいしんぼうのはなこさん

石井桃子／文 中谷千代子／絵
福音館書店

うしのはなこは、わがままほうだいで なんでもひとりじめ。ある日、おいもと かぼちゃをたべて、はなこのからだは、ふうせんのようにふくれあがります。ユーモラスな結末に、思わず笑顔がこぼれます。





いたずらこねこ

バーナディン・クック／ぶん レミイ・シャーリップ／え
まさきりこ／やく 福音館書店

はじめてかめをみた こねこ。まえあしで、か
めのあたまを ポンとたたくと、くびがきえまし
た。もういちどたたくと、足がきえてなくなりま
した。こねこは びっくりぎょうてん。

いっすんぼうし

いしいもこ／ぶん あきのふく／え
福音館書店

てのゆびほど ちいさい いっすんぼうし。
「わたしは みやこにのぼって、ひとはたらき
してしようと おもいます。」おわんをかさに
し、はしをつえにし、はりをかたなにしてい、で
かけていきました。



おかあさんだいすき

マジョリー・フラック／文・絵 光吉夏弥／訳・編
岩波書店

きょうは、ダニーのおかあさんの たんじょう
日です。ダニーは、おかあさんに あげるも
のを みつけにでかけました。さて、ダニー
の おくりものとは？ ダニーのまっすぐで優
しい気持ちが伝わってきます。

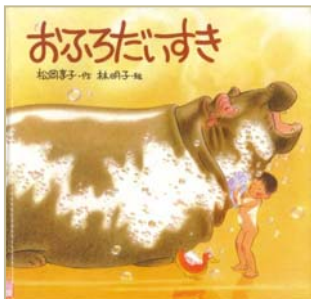
キャベツくん

シリーズ

長新太／文・絵 文研出版

おなかをすかしたブタヤマさんが、キャベツ
くんをつかまえました。キャベツくんが「ぼくを
たべるとキャベツになるよ」といいました。「ブ
キャ！」とブタヤマさんは、びっくりしてしま
います。2人のナンセンスなやりとりを楽しん
でください。





おふろだいすき

松岡享子／作 林明子／絵
福音館書店

まこちゃんは、いつも あひるのプッカをつれて おふろにはいります。ある日、おふろのそこから、おおきなかめが ざあーっと ういできました。そして、ペンギンやオットセイまであらわれて…。

おおかみと七ひきのこやぎ

フェリクス・ホフマン／え グリム／原作
せたていじ／やく 福音館書店

おかあさんやぎのるすに、おおかみが こやぎたちを食べようとやってきます。ハラハラしながら聞いていた子どもも、最後にはほっと胸をなでおろします。グリムの昔話です。



しょうぼうじどうしゃじふた

渡辺茂男／さく 山本忠敬／え
福音館書店

じふたは ちびっこしょうぼうしゃです。はたらきものですが、なかなかしゅつどうさせてもらえません。そんなあるとき、山かじがおきました。いよいよ じふたのでばんです。



すてきな三にんぐみ

トミー＝アンゲラー／さく いまえよしとも／やく
借成社

くろマントに、くろいぼうしの三にんぐみ。それはそれは、こわーいどろぼうです。うばった たからは、さあどうする？ 三にんぐみが考えた宝の使い道には、だれもが納得です。





ぼく、だんごむし

得田之久／ぶん たかはしきよし／え
福音館書店

だんごむしは何をたべるの？ ぐるっと丸まるのはなぜ？ 身近な生き物のだんごむしの生態が、小さな子どもに分かりやすく書かれています。物語が苦手な子どもにもおすすめです。

からすのパンやさん

加古里子／絵・文
借成社

からすのパンやさんは、赤ちゃんが生まれて、おおいそがし。おきやくさんがすっかりへってしまいました。そこで、みんなでかながえて、すてきなパンをつくります。いちごパンにきつねパン、テレビパンに はぶらしパン!?

シリーズ



こすずめのぼうけん

ルース・エインワース／作 石井桃子／訳
堀内誠一／画 福音館書店

はじめてそらをとんだ こすずめは、とおくまできて はねが いたくなってしまう。どこかでやすもうと、いろいろなとりの巣をたずねますが、どのとりも巣に入れてくれません。

ラチとらいおん

マレーク・ベロニカ／ぶん・え とくながやすもと／やく
福音館書店

ラチは、よわむしな男の子。ある日らいおんがあらわれて、ラチをつよくしてやるというのです。さっそく、ラチの修行が始まりました。まずは「いち にっ さん！」ふたりで体操です。



5～6歳



5～6歳になると、自分一人でできることが増え、自立心が芽生えてきます。創作絵本や昔話だけではなく、知的好奇心を満たす科学絵本や、言葉遊びの絵本など、さまざまなタイプの絵本を楽しめるようになります。また、絵本だけではなく、物語も読んで聞かせてあげましょう。

かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック／著 神宮輝夫／訳
富山房

おかあさんにしかられ、しんしつに入れられたマックス。すると、へやに木がはえ出し、ふねがあらわれた。1年と1日こうかいすると、たどりついたのは、かいじゅうたちのいるところ。



かにむかし

木下順二／文 清水崑／絵 岩波書店

かにの こどもたちが、おやがにのあだうちにもむかいます。ばんばんぐりに はちや、うしのふん、ぼうに 石うすが なかまになって、がしやがしやと 歩いていきました。さるかに合戦で知られる日本の昔話です。

くんちゃんのだいいりょう

シリーズ

ドロシー・マリノ／文・絵 石井桃子／訳
岩波書店

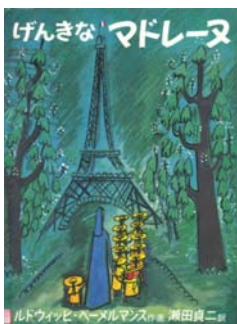
そろそろふゆごもりのきせつ。子ぐまのくんちゃん、鳥といっしょにみなみのくにへ行こうとします。わすれものを取りになんどもどるくんちゃんを、おかあさんぐまとおとうさんぐまは、優しく見守ります。



ちいさいおうち

バージニア・リー・パトソン／文・絵
石井桃子／訳 岩波書店

静かな田舎にある小さいおうち。時が経ち、周りの景色は少しずつ変わり、やがてビルに囲われましたが、おうちは変わらずそこに建っています。出版から 50 年以上経っても愛され続けているロングセラー絵本。



げんきなマドレーヌ

シリーズ

ルドウィッヒ・ベームルマンス／作・画
瀬田貞二／訳 福音館書店

パリの ふるい やしきに、12 人の女の子がくらしています。いちばん おちびさんのマドレーヌは、こわいものなし。そんなマドレーヌが、しゅじゅつをすることになりました。

はなのあなのはなし

やぎゆうげんいちろう／さく 福音館書店

ぼくたちは、はなのあなから いきをする。はなのあながつまると、においがわからなくなる。はなのあなの役目やしきみを、ユーモアたっぷりに説明しています。はなのあなをしっかりとふくらまして 読んでください。



ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ／さく・え おのでのりゆりこ／やく
福音館書店

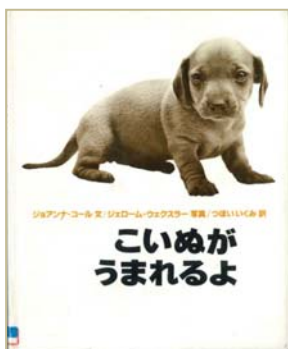
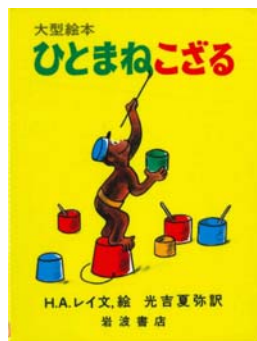
ペレは、こひつじをもっていました。こひつじの毛をかりとり、おばあちゃんに、すいてもらうかわりに、うしのぼんをしました。つぎは、もうひとりの おばあちゃんのおてつだい。だんだん服が仕上がっていきます。

ひとまねこざる

シリーズ

H. A. レイ／文・絵 光吉夏弥／訳
岩波書店

こざるのジョージは、しりたがりや。じぶんをつれてきた きいろいぼうしの おじさんをさがしに、どうぶつえんのかぎをぬすんでまちにでます。いたずらジョージは、子どもそのもの。シリーズのほかの本もご一緒にどうぞ。



こいぬがうまれるよ

ジョアンナ・コール／文 ジェローム・ウェクスラー／
写真 つぼいいくみ／訳 福音館書店

「おとなりの いぬに あかちゃんが うまれるの。いっぴき わたしが もらうんだ！ ああ、まちきれない！」こいぬが生まれ、一人立ちするまでの様子を 女の子の目を通して、描いた写真絵本です。

わにがわになる

多田ヒロシ／著 こぐま社

「いるかは いるかい」「ねこが ねころぶ」など、楽しい文章とユーモラスな絵がぴったり合った絵本です。子どもと一緒に、ことばトリズムを楽しみましょう。



まほうのコップ

藤田千枝／原案 川島敏生／写真
長谷川摂子／文 福音館書店

たねもしかけもありません。ただのコップにただのみず。でも、コップのうしろに、いちごやフォークをおくと、どうなるでしょう？ 読んだ後は、おうちのテーブルで、まほうをお試してください。

あおい目のこねこ

ものがたり

エゴン・マターセン／さく・え せたていじ／やく
福音館書店

あおい目の元気なこねこがいました。あるとき、ねずみのくに見つけにでかけました。なにしろ、ねずみのくを見つけたら、もうおなかをすかすことが、ありませんもの。



どろんこぶた

ものがたり

アーノルド・ローベル／作 岸田衞子／訳
文化出版局

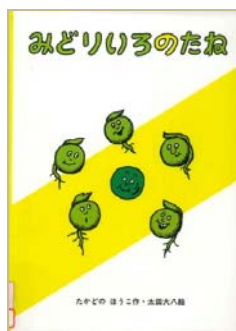
ある日、おひやくしょうの おぼさんが、ぶたごやを おおそうじ しました。どろんこがだいすきな こぶたは、ぴかぴかにされて、おこりました。うちをにげ出した こぶたの 冒険が始まります。

みどりいろのたね

ものがたり

たかどのほうこ／作 太田大八／絵
福音館書店

まあちゃんは、たねと いっしょに メロンあじのあめを はたけにまきました。すると、土の中で、たねたちとあめが けんかを始めます。たねはきちんとそだつでしょうか？



けんた・うさぎ

ものがたり

中川李枝子／さく 山脇百合子／え
のら書店

けんた・うさぎは、げんきな男の子。お父さんのまねをしたり、言ってることと あべこべのことをしたりと、ゆかいな毎日をすごします。子どもの日常を描いた物語です。

※こちらでご紹介した絵本は図書館にあります。

横浜市立図書館

まずは図書館を利用してみましょう！



0歳から
カードが作れます。

住所の確認できるもの(健康保険証・免許証など)をお持ちください。その日から無料で借りられます。図書館カードは市立図書館 18 館のどこでも使えて、6冊・2週間まで借りられます。

開館時間

火曜日～金曜日

午前9時30分～午後7時

中央図書館は午後8時30分まで

ただし、地下1階学習室は午後7時まで

山内図書館は午後8時30分まで

土曜日・日曜日・月曜日・

祝(休)日・12月28日

午前9時30分～午後5時

1月4日 正午～午後5時

*上記以外にも、臨時休館させていただく場合があります。
詳しくは、ホームページをご覧ください。



休館日

- ・施設点検日(月1回)
- ・12月29日～1月3日
- ・図書特別整理日



横浜市立図書館のホームページもご活用ください!!

蔵書検索や予約もできます。おはなし会等のイベント情報もたくさん！

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/>

平成28年6月発行

横浜市中心図書館サービス課／編集・発行

〒220-0032 横浜市西区老松町1 電話 045(262)0050 FAX045(231)8299

メールアドレス ky-libkocho-s@city.yokohama.jp